

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科	科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	教育学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1学年	学期及び曜時限		教室名	
担 当 教 員	堀 和弘	実務経験と その関連資格			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>看護に求められる知識や技術は近年ますます複雑・高度化しており、患者指導の重要性なども高まってきているが、同時に一方において、専門職としての看護師にとっては自身の人間性や、人間としての患者等の理解がより一層求められるようになってきているといえる。そこで基礎分野の一つとして、看護にとっての教育学の必要性と要点等について、講義や資料・視聴覚教材、ディスカッション、ロールプレイなどのアクティブ・ラーニングを通して、認識を深められるようにする。</p>					
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>実学教育、人間教育、国際教育の三つの観点を中心としながら、教育学の要点を理解し、最終的に看護の理解の深化や、それらの表現へとつなげられることを目標とする。成績評価は、終講時の論述形式の試験を50%、レポートを40%、授業参加の積極性などを10%として、総合的に判断する。質問なども大いに歓迎したい。</p>					
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>講義で配布する資料を主たる教材とする。参考図書については、木村元編『系統看護学講座 基礎分野 教育学(第7版)』医学書院、2015年、などの他、授業内で随時紹介する。</p>					
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>私達にとって必要不可欠な教育に関する研究分野としての教育学のエッセンスは、看護と共通する所も多く、看護という営みや看護の対象となる人間についての理解が一層深まるように、講義資料や参考図書を通じての学習に加えて、日々のニュースや各種ホームページ等の情報に関心を持ちながら、主体的な学びを心掛けて頂きたい。</p>					
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>専門分野とは異なる基礎分野としての位置付けからも、知識よりも各自の考え方を深めることに力点を置くように、留意を求めたい。</p>					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	看護を学ぶ上での教育学の必要性について概略を理解し、説明出来る。	資料を配布する。	各自がこれまで受けてきた学校教育等の経験について振り返っておくこと。	
	各コマにおける授業予定	はじめに、看護と教育学(1) この授業の目的、人間関係諸科学としての理解、など			
第2回	授業を通じての到達目標	近年の看護や教育をめぐる問題の所在等について、説明出来る。	資料を配布する。	前回の講義内容の要点を各自で整理して、教育学のねらい等について説明出来るようにしておくこと。	
	各コマにおける授業予定	看護と教育学(2) 近年の看護や教育をめぐる問題、など			
第3回	授業を通じての到達目標	古代の教育思想家の主張等について、説明出来る。	資料を配布する。	前回の学習内容の要点を各自で整理して、人権等の課題についてまとめておくこと。	
	各コマにおける授業予定	教育思想(1) ソクラテス等が残した教育に関する名言、など			
第4回	授業を通じての到達目標	特に開発主義と注入主義の相違について、説明できる。	資料を配布する。	前回の学習内容の要点を各自で整理して、ソクラテスの思想などについて、内容をまとめておくこと。	
	各コマにおける授業予定	教育名言集 様々な教育に関する名言や開発主義と注入主義の理解、など			
第5回	授業を通じての到達目標	近代の教育思想家の主張等について、説明出来る。	資料を配布する。	前回の学習内容の要点を各自で整理して、開発主義と注入主義の違いなどの内容をまとめておくこと。	
	各コマにおける授業予定	教育思想(2) ルソー等が残した教育に関する名言、など			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	諸外国の子育て支援の特徴などについて、説明出来る。	資料を配布する。	前回の学習内容の要点を各自で整理して、ルソーの思想などについて、内容をまとめておくこと。
	各コマにおける授業予定	国際教育 西欧諸国の子育て支援の具体例や考え方の理解、など		
第7回	授業を通じての到達目標	指導的な場面におけるコミュニケーションのあり方について、説明出来る。	資料を配布する。	前回の学習内容の要点を各自で整理して、近代の教育思想家の名言の意味などについて、内容をまとめておくこと。
	各コマにおける授業予定	コミュニケーションに関するロールプレイの事例研究。 看護師と患者とのかかわりについて教育学的に考える。		
第8回	授業を通じての到達目標	視聴覚教育の要点等について、説明出来る。	資料を配布する。	前回の学習内容の要点を各自で整理して、コミュニケーションのあり方に関する内容をまとめておくこと。
	各コマにおける授業予定	教育方法論 視聴覚教育に関する理論や活用、など		
第9回	授業を通じての到達目標	障害者の対象理解や支援のあり方などについて考え、説明出来る。	資料を配布する。	前回の学習内容の要点を各自で整理して、視聴覚教材の活用などについて、内容をまとめておくこと。
	各コマにおける授業予定	障害者教育 事例を通して対象の理解等を進める、など		
第10回	授業を通じての到達目標	事例研究を通して実践的な防災教育の考え方を理解し、説明出来る。	資料を配布する。	前回の学習内容の要点を各自で整理して、障害者支援のあり方などについて、内容をまとめておくこと。
	各コマにおける授業予定	防災教育 阪神・淡路大震災、東日本大震災などの事例から防災教育と看護を考える		
第11回	授業を通じての到達目標	教育に影響を与える心理に関する主要な理論の概要等について理解し、説明出来る。	プロジェクターを用いて、映像・写真資料等を呈示する。	前回までの資料を読んで、防災教育のあり方などの考え方をまとめておくこと。
	各コマにおける授業予定	教育心理学のキーワード ピグマリオン効果、オペラント条件付け、など		
第12回	授業を通じての到達目標	指導に関する10の基本原則の前半の各項目の要点を理解し、説明出来る。	講義で資料を配布する。参考図書:『系看 教育学』医学書院、等。	前回の板書ノートと講義資料を読んで、教育心理学などの内容をまとめておくこと。
	各コマにおける授業予定	教育方法論(1) 指導に関する10の基本原則の理解を図る(1)直観の原理、興味の原理、など		
第13回	授業を通じての到達目標	指導に関する10の基本原則の後半の各項目の要点を理解し、説明出来る。	講義で資料を配布する。参考図書:『系看 教育学』医学書院、等。	前回の板書ノートと講義資料を読んで、指導に関する10の基本原則の前半の内容をまとめておくこと。
	各コマにおける授業予定	教育方法論(2) 指導に関する10の基本原則の理解を図る(2)直観の原理、興味の原理、など		
第14回	授業を通じての到達目標	ロールプレイを通して対象の理解を体験的に深める。	板書内容を中心とする。参考図書:ラルフ、ペットマン他『新版 人権のための教育』明石書店、2003年、等。	前回の板書ノートと講義資料を読んで、指導に関する10の基本原則の後半の内容をまとめておくこと。
	各コマにおける授業予定	人権教育アクティビティ 人権教育アクティビティとしてのロールプレイによる演習から考える		
第15回	授業を通じての到達目標	教育学の各回の講義内容を総合的に理解し、表現出来る。	講義で資料を配布する。	講義資料の全体を読むとともに、各自の考えを文章化出来るように内容をまとめておくこと。
	各コマにおける授業予定	総括 教育とはそして看護とは、など		